



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 クリナップ株式会社
 コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 井上 強一
 (氏名) 田中 仁

TEL 03-3894-4771

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	86,145	13.0	4,833	74.8	4,547	76.0	2,812	15.1
24年3月期第3四半期	76,222	△4.1	2,765	△31.2	2,583	△32.4	2,443	△21.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,801百万円 (18.0%) 24年3月期第3四半期 2,373百万円 (△19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	60.37	—
24年3月期第3四半期	52.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	87,274	56,133	64.3	1,204.79
24年3月期	84,810	53,797	63.4	1,154.67

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 56,133百万円 24年3月期 53,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,300	8.6	3,500	47.7	3,200	53.6	1,800	△16.5	38.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	46,942,374 株	24年3月期	46,942,374 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	350,745 株	24年3月期	350,650 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	46,591,660 株	24年3月期3Q	46,591,796 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算短信のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな持ち直し傾向がみられる一方、長期化する円高や欧州債務問題に加え、米国の財政難や新興国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、「復興支援・住宅エコポイント」や「フラット35S」などの住宅取得支援制度や震災復興需要により、新設住宅着工戸数は平成24年9月より連続して前年同月を上回り、回復へ向かうことが期待されております。

このような中で当社グループは、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」を中心として、フィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」、平成24年3月に清掃性とデザイン性を高めてフルモデルチェンジしたシステムバスルーム「アクリアバス」、平成24年6月にシンプルで洗練されたデザインでモデルチェンジしたシステムキッチン「ラクエラ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため、平成24年7月にオープンした新しいコンセプトのショールーム「キッチンタウン・クリナップ・大阪」（梅田阪急ビルオフィスタワー26F）をはじめとして、全国9ヶ所のショールームを移転・改装いたしました。また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店との連携も深めながら、需要の獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きVE活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S.S.」は数量、金額とも大幅減、「クリンレディ」は数量、金額とも大幅増、「ラクエラ」は数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比13.5%増の654億7千7百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも大幅増、「hair o（はいろ）」は数量、金額とも微減、洗面化粧台は数量、金額とも増加となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比13.2%増の169億5千1百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に東日本大震災の影響があったこともあり、前年同期比13.0%増の861億4千5百万円となりました。利益面では営業利益は48億3千3百万円（前年同期比74.8%増）、経常利益は45億4千7百万円（同76.0%増）、四半期純利益は28億1千2百万円（同15.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は872億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億6千3百万円増加いたしました。流動資産は605億9千7百万円となり、19億3千5百万円増加いたしました。これは現金及び預金1億6千8百万円、電子記録債権が26億1千6百万円、未成工事在庫の積み上がり等により商品及び製品が11億2千2百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が22億4千6百万円減少したこと等によります。固定資産は266億7千6百万円となり、5億2千7百万円増加いたしました。これは生産設備の増強、ショールーム移転・改装等により有形固定資産が3億5千1百万円、情報基盤整備等により無形固定資産が1億2千4百万円増加したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は311億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千8百万円の増加となりました。流動負債は229億6千2百万円となり、3億5千6百万円減少いたしました。これは買掛金が2億2千7百万円、信託一括支払いが増加したこと等により未払金が5億5千6百万円、未払法人税等が11億4千8百万円増加した一方、短期借入金が23億4千7百万円減少したこと等によります。固定負債は長期借入金が4億円増加したこと等により、81億7千8百万円となり、4億8千5百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は561億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億3千5百万円増加いたしました。これは四半期純利益28億1千2百万円、配当金の支払い4億6千5百万円等によります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.4%から64.3%になりました。

(キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億6千8百万円（0.6%）増加して264億1千6百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は49億8千4百万円（前年同期は24億3千5百万円の使用）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が45億1千8百万円と前年同期比23億8千6百万円の増益で、減価償却費が20億2千9百万円、未払金の増加が7億9千9百万円あった一方、賞与引当金の減少8億5千2百万円、たな卸資産の増加が13億4百万円あったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は23億2千2百万円（前年同期比20.7%増）となりました。これは生産設備の増設及び改修、ショールーム移転・改装等有形固定資産取得に伴う支出が15億3千4百万円、情報システム構築に伴う支出が7億2千9百万円あったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は24億9千2百万円（前年同期は32億4千3百万円の獲得）となりました。これは短期借入金の純減13億6千4百万円、長期借入金の約定返済23億8千3百万円、配当金の支払いが4億6千6百万円あった一方、長期借入れによる収入が18億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、住宅取得支援制度や震災復興需要、金融緩和策などにより、新設住宅着工戸数やリフォーム需要の緩やかな回復が期待される一方で、足元では依然として雇用不安やデフレの影響による消費マインドの低迷が懸念されます。

このような状況の中、当社は平成25年2月に、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」や、フィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」をさらに進化させてモデルチェンジし、売上拡大に努めてまいります。また、生産面での原価低減、全社的なコスト削減にも努めてまいります。

以上により、直近の経営環境をふまえ、通期の連結業績予想につきましては変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,735	23,903
受取手形及び売掛金	28,141	25,894
電子記録債権	—	2,616
有価証券	2,712	2,712
商品及び製品	938	2,061
仕掛品	109	101
原材料及び貯蔵品	966	933
その他	2,102	2,419
貸倒引当金	△44	△46
流動資産合計	58,661	60,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,020	8,106
その他（純額）	10,291	10,556
有形固定資産合計	18,312	18,663
無形固定資産		
1,685	1,685	1,809
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	2,780
その他	3,592	3,521
貸倒引当金	△98	△98
投資その他の資産合計	6,152	6,203
固定資産合計	26,149	26,676
資産合計	84,810	87,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,454	6,681
短期借入金	3,946	1,599
未払金	10,407	10,964
未払法人税等	411	1,560
賞与引当金	1,152	300
資産除去債務	7	—
その他	939	1,857
流動負債合計	23,319	22,962
固定負債		
長期借入金	3,168	3,568
退職給付引当金	1,780	1,773
役員退職慰労引当金	424	424
資産除去債務	346	357
その他	1,973	2,054
固定負債合計	7,693	8,178
負債合計	31,013	31,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	28,143	30,490
自己株式	△224	△224
株主資本合計	53,537	55,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270	259
為替換算調整勘定	△10	△11
その他の包括利益累計額合計	259	248
純資産合計	53,797	56,133
負債純資産合計	84,810	87,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	76,222	86,145
売上原価	50,422	55,819
売上総利益	25,799	30,325
販売費及び一般管理費	23,034	25,492
営業利益	2,765	4,833
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	43	52
仕入割引	195	204
その他	127	125
営業外収益合計	379	398
営業外費用		
支払利息	59	52
売上割引	461	563
その他	40	68
営業外費用合計	561	684
経常利益	2,583	4,547
特別利益		
固定資産売却益	46	55
投資有価証券売却益	0	15
特別利益合計	46	71
特別損失		
固定資産除売却損	37	86
投資有価証券評価損	3	3
退職特別加算金	18	10
減損損失	3	1
災害による損失	433	—
その他	0	—
特別損失合計	497	101
税金等調整前四半期純利益	2,132	4,518
法人税等	△311	1,705
少数株主損益調整前四半期純利益	2,443	2,812
四半期純利益	2,443	2,812

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,443	2,812
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△67	△10
為替換算調整勘定	△2	△1
その他の包括利益合計	△70	△11
四半期包括利益	2,373	2,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,373	2,801
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,132	4,518
減価償却費	2,118	2,029
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△782	△852
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,931	375
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,188	△1,304
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,359	227
未払金の増減額 (△は減少)	2,013	799
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△339	—
災害損失	1,643	—
その他	△505	△337
小計	△480	5,456
利息及び配当金の受取額	57	67
利息の支払額	△62	△55
災害損失の支払額	△1,599	—
法人税等の支払額	△349	△483
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,435	4,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△200
有形固定資産の取得による支出	△1,524	△1,534
有形固定資産の売却による収入	61	59
無形固定資産の取得による支出	△273	△729
投資有価証券の取得による支出	△201	△205
投資有価証券の売却による収入	0	77
投資有価証券の償還による収入	—	200
その他	13	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,925	△2,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	87	△1,364
長期借入れによる収入	5,000	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,309	△2,383
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△466	△466
その他	△67	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,243	△2,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,120	168
現金及び現金同等物の期首残高	25,798	26,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,678	26,416

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

当社及び連結子会社は、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間において、東日本大震災の影響が軽微になったことにより、生産、受注及び販売実績が著しく増加したものは、次の通りであります。

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を事業部門別に示すと次の通りであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)
厨房部門 (百万円)	37,875	+13.3
浴槽・洗面部門 (百万円)	14,507	+13.2
その他 (百万円)	899	△0.2
合計 (百万円)	53,281	+13.0

- (注) 1. 金額は平均販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績を事業部門別に示すと次の通りであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)
厨房部門 (百万円)	20,016	+5.7
浴槽・洗面部門 (百万円)	2,075	+12.8
その他 (百万円)	354	△15.1
合計 (百万円)	22,446	+5.9

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社及び連結子会社の受注生産品の売上高は、僅少でありますので記載を省略しております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業部門別に示すと次の通りであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)
厨房部門 (百万円)	65,477	+13.5
浴槽・洗面部門 (百万円)	16,951	+13.2
その他 (百万円)	3,717	+4.5
合計 (百万円)	86,145	+13.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。